令和5年4月23日執行

田上町議会議員一般選挙公報



田上町選挙管理委員会

議会改革

「奉仕の精神」をもって議員職務を果たします。日本維新の会の 「身を切る政策」に合致した中で行政をすべきです。 「議員定数削減」例えば5人削減で1000万円以上を事業に充てます。

土地、宅地の整備。田上は弥彦、刈羽とほぼ同面積ですが、JR の駅が2つもあり、403号線も整備され新潟からの移住者をターゲ ットとします。空き家、空き地の実態把握を急ぎます。 待って消滅自治体と成らないために。

加茂市との一部組合の焼却場は10年計画で進んでいます。明日ダ ウンするかもしれない老朽化施設を悠長に考えてはいけません。 次は斎場の問題も控えています。企業誘致もトップ任せではいけ ません。皆さんが思っているより田上町は、問題山積です。



밂 ま田

田上町の持続可能な明るい未来をつくるために

子どもの貧困対策 『子どもの未来応援プロジェクト』

教育格差対策の学習支援

サポートする居場所づくり

地域のつながりを

自殺対策として、身近な人に 505を出しやすくする 『味方になりきるコミュニケーション』 の普及啓発

社会復帰対策の就労支援 健幸寿命を伸ばす為の、音楽や スポーツ、ボランティア活動など を通した生涯学習の推進

●フードバンクかも・たがみ 代表 ●にいがたフードバンク連盟 監事 ●新潟県フードバンク連絡協議会 監事 ●田上町商工会青年部卒



は

安全で安心な"すみよい町"づくりを!

豊かな自然の中で、活気あふれる田上町を目指し、 未来のために今できることを全力で実行します!

自然災害に強い町づくり 町主催での防災訓練の実施、 各災害における避難所等の体制整備

子育てができる環境整備 安全で安心な 町民体育館の早期実現を

インフラ整備の充実 子どもとお年寄りに安全な道路の確保

不具合箇所の対応 現状把握を行ない。 必要な箇所の応急・恒久対策の実施

田民プールの建設を

全世代が使用できる環境を

SECONDO DE LA CONTRACTION DEL CONTRACTION DE LA CONTRACTION DE LA

人口減少対策として、結婚、出産、



辺かつえい

住民こそ主人公

- ○学校給食無償化をめざします
- ○高校卒業までの医療費通院も無料化を ○補聴器購入支援を増やして5万円に
- ○転作奨励金の増額を!
- ○稲作支援金制度を(10a4千円)

原発再稼働に反対です。再生可能エネルギーの本格的研究を 43兆円の軍備計画stop 子育て 高齢者 農業 医療 中小企業に使えの声を!





向橋ひであき

ご支持を

願

にの 参発

との未 いのめ

んめ、どんないある子供と 町全域を歩 て実感 0 い田 体上 作に自住 が私



吉は原 (48歳)

2045年、田上町は人口 7390人、高齢化率 50.5%の超少子高齢化社会に突入します。子供、 孫の為に、ぜひ皆さん一緒に考えましょう!子供 は町の宝もの!動くのは「今」しかありません!

- ・出産、育児、教育、定住化支援
- ・食の改善・竹の産業育成
- ・近隣市町村との連携協力





民間で培った経験を活かして官の発想にとらわれず、 町民の皆様のために議員としての役割を果たします。

1.将来の人口減少を踏まえて 議員定数削減を前提とした議員定数見直し

2.出産・子育て応援交付金の増額 3.移住者増加のため民間と連携した 優良住宅団地の開発推進

4.農業支援策の充実

5.デジタルを活用した議会資料のペーパーレス化、 及び町民サービスの向上と行政事務の効率化 6.事故・防犯・災害対策の充実

田上町を子供たちの未来につなぎ発展させるために 是非みなさまの力をお貸しください。

【プロフィール・総配】 ・平成2年より田上町に在住・昭和33年9月30日 三条市三貴地の農家に生まれる ・昭和51年3月 新潟県立加茂農林高等学校 農業上木料卒業 中学、高校の6年間を吹奏楽部に打ち込む ・昭和51年4月 加茂市の民間企業に入社、46年10ヵ月勤務、現場管理を経験し、部長・常務執行役員・顧問を歴任 ・資格 宅地建物取引士、コンクリート移断士・趣味 海釣り、クラシック音楽 ・家族 妻、長女、次女



お 0) 秀 ひで ゆき

皆様の声をまっすぐ町政へ 4期目「よりそう」を掲げ、よい町にする

うぎの住みよい町づくり

でして学ぶ 学校給 学校給 子育 ※ふ環境を実現する。 2の授業料を全額助 言。 て支援

助成支に場作り、 文援の実現を提言。心熱水費高騰に見合り助成金を実現。 支援の拡大

ご近所の助け合いの輪を作るに自立する介護支援の実践住み慣れた地域で暮らす為 の充実



子どもたちへ残せる まちづくり」に取り組みます

- ●町の財布を豊かにする産業振興 農業と企業の未来志向を支援
- ◉安心して学べる教育環境 課外体験の貧困を無くし、ヤングケアラーを支援
- 子育て・年金生活を健やかに過ごせるまちへ

略 歴 昭和25年7月生まれ、妻子と3人暮らし 昭和44年、加茂農林高校を卒業し国土防災技術(株)入社 平成15年、林業「森林人(もりうど)」起業 平成27年~田上町議会議員2期

ま謙

心をつなぐ、 未来を育てる

これまでに町の皆さんの想いや声をたくさん頂き ました。引き続き、町の皆さんと町政への祭け橋と して、届けていきたいと思います。

町の皆さんが年を重ねても安心してこの町に住み 続けて頂きたい。子供たちが厳しい社会の中でも 生き抜く力をもってほしい。そのための『まちづくり』 はまったなしです。町政がどのように進められている のかつぶさに知り、考え、提言してまいります。 田上町の未来を考え、行動し続けます。



※活気ある議会を創る※

『町民の声を町政へ』届けます。

<三期目の政策目標>

- ◆少子化·人口減少化に歯止めをかけるための条件整備に取 り組みます。【出産祝い子育て支援金制度の確立】 【民間資本による宅地開発の推進】
- ◆農業振興を図る一環として『竹の子』の増産とブランド化する ためにも「竹林整備支援金制度の確立」に取り組みます。
- ◆市外からこの町に来てくれる人(交流人口)をもっと増やし町 内の活性化を図る為にも、護摩堂山山頂の汲み取りトイレ の水洗化に取り組みます。
- ◆困りごとや住んでいる地域の環境整備取り組みます。 ※ご支援を御願い申し上げます。※

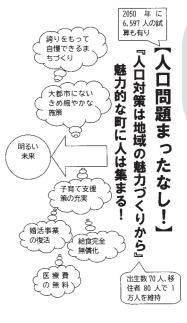




を進めませ

SDGSを意識した持続可能なまちを創る

小河川の改修を提言します。 災害に強い安全なまちを創る。 安心して生活できるコミュニテ 老若男女の助け合い の仕組 防災情報を集 安心





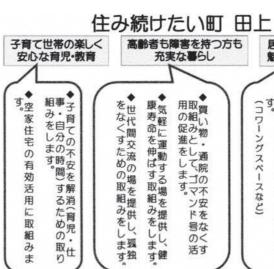
<学非常勤講師・地域づくりアドバイザー 61 Ø

を救う)のために。 全ては**『経世済民』**(良い政治を行い、 苦しんでいる人々

地域にとって、重視の施策 少子高齢化には、 子どもは 少子化と高齢化のバラ

、人口減少に立ち向かい、備える政治を実践します。人が減っても色褪せない、田上の社会経済を実現するため を推進し、習慣にまで高めます。便さが生じないようにするため地元経済の主役は消費です。生 かりと届く施策を実施します。合により施策の実効性を高めます。一人ひとりにしっ行政資源(ヒト、モノ、カネ)の集中と、各種施策の統廃百の凡策よりも、一つの「覚悟ある」施策のためには、 地元経済は暮らしそのものだから、衰退さ 6す。暮らしに不便さが生じためにも、地元消費の定着、先ずは日々の買い物に不





既存施設の有効活用に取組みま 境をつくる取組みをします。起業チャレンジを支援できる環 (コワーングスペースなど) します。 誇れる町 田上 後ミニ集会の声より 互いに支え合える田上町



居住者増える魅力的な環境

辺なほみ

Well being みんなでつくるまちづくり

やさしい

人を育てる 出上町

■暮らしを支える条例の制定をしていきます 先ずはケアラー・ヤングケアラー支援条例を策定!

■子育て支援 保育料・給食費の負担軽減! ■田上町ブランドへの協働 農と産学官のマッチング ☆子育てや老後の生活は、社会全体で気持ちよく

サポートしていける環境をつくります。 ・昭和37年 新潟市秋葉区生まれ(旧新津市) • 平成25年 新潟大学 経済学部 経営学科 卒

・DIYアドバイザー、福祉住環境コーディネーター 農商エマッチングコーディネータ、防災士 ・写真館、放課後デイサービス、元バスドライバー ·田上町議会議員(3期)、NPO法人役員



なか の 和美 かずみ